



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,675	35.9	431	133.6	427	181.5	316	200.8
29年3月期第1四半期	2,705	19.3	184	28.4	152	41.2	105	38.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 331百万円 (243.3%) 29年3月期第1四半期 96百万円 (44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	25.96	
29年3月期第1四半期	8.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,891	6,024	55.3
29年3月期	10,716	5,754	53.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,024百万円 29年3月期 5,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		5.00		25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の1株当たり期末配当金は5.00円となり、1株当たり年間配当金は10.00円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	21.3	500	29.8	500	48.9	340	46.5	27.84
通期	13,000	12.9	1,000	3.4	1,000	4.7	680	5.4	278.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は55円69銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	13,029,500 株	29年3月期	13,029,500 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	819,974 株	29年3月期	818,477 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	12,210,510 株	29年3月期1Q	12,212,702 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月29日開催の第122期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定です。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

1.平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金

第2四半期 5.00円

期末 5.00円

2.平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

第2四半期(累計) 27.84円

通期 55.69円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、雇用、所得環境、企業業績などの改善により、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においても、景気は緩やかに回復しておりますが、景気の先行きについては、中国を始めアジア新興国等経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は前年同期比970百万円増収（35.9%増収）の3,675百万円、営業利益は同246百万円増益（133.6%増益）の431百万円、経常利益は同275百万円増益（181.5%増益）の427百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同211百万円増益（200.8%増益）の316百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場（ドル建て）は、主産地である中国において、環境規制による操業停止などによる需給逼迫懸念から、当第1四半期は緩やかな上昇で始まり、5月初旬に9,000ドル台の高値をつけた後、4月から5月末にかけて実施された中国政府による環境監査の終了に伴い、供給不足の思惑が急速に減退し、6月末では8,200ドル台まで下落しました。

当第1四半期の相場は前年同期との比較で、ドル建てでは42.2%、円建てでは46.0%とそれぞれ大幅に上昇しました。

同事業の販売状況につきましては、自動車部品向けや、中国販売子会社での販売増により、販売数量は前年同期比105トン増加（5.7%増加）の1,932トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、販売数量の増加と原料価格上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比563百万円増収（41.8%増収）の1,910百万円となりました。セグメント利益は、販売数量の増加により、同155百万円増益の130百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第1四半期平均でトン当たり671,600円となり、前年同期比20.9%の上昇となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、スマートフォン関連需要に加え、軟磁性材向けの販売も堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比72トン増加（24.4%増加）の368トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、自動車部品向けが好調に推移しましたので、販売数量は前年同期比54トン増加（13.1%増加）の468トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比126トン増加（17.8%増加）の836トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、販売数量の増加と主原料である銅の国内建値の上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比407百万円増収（30.1%増収）の1,759百万円となりました。セグメント利益は、電子部品向け金属粉の販売好調により、同88百万円増益（44.0%増益）の290百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業の当第1四半期の売上高は5百万円（前年同期比0.0%増収）、セグメント利益は5百万円（前年同期比5.7%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,718百万円となり、前連結会計年度末と比べ304百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が119百万円減少したものの、現金及び預金が58百万円、受取手形及び売掛金が256百万円、商品及び製品が86百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,172百万円となり、前連結会計年度末と比べ129百万円減少いたしました。これは主に機械装置及び運搬具が44百万円、投資その他の資産が81百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,891百万円となり、前連結会計年度末と比べ174百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,522百万円となり、前連結会計年度末と比べ59百万円減少いたしました。固定負債は1,344百万円となり、前連結会計年度末と比べ35百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、4,866百万円となり、前連結会計年度末と比べ95百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,024百万円となり、前連結会計年度末と比べ270百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により316百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.3% (前連結会計年度末は53.7%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間並びに通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判明した時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,393,613	2,451,722
受取手形及び売掛金	1,836,923	2,093,254
商品及び製品	1,027,819	1,114,281
仕掛品	227,470	273,735
原材料及び貯蔵品	790,838	671,222
その他	143,313	121,096
貸倒引当金	△5,645	△6,540
流動資産合計	6,414,333	6,718,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,448,823	1,438,029
機械装置及び運搬具(純額)	697,429	652,739
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	203,351	210,297
有形固定資産合計	3,828,194	3,779,656
無形固定資産	45,673	45,660
投資その他の資産	428,735	347,470
固定資産合計	4,302,604	4,172,787
資産合計	10,716,938	10,891,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	924,271	962,131
電子記録債務	335,338	364,299
短期借入金	1,632,000	1,632,000
未払法人税等	218,346	116,130
賞与引当金	134,141	66,602
その他	337,801	380,882
流動負債合計	3,581,899	3,522,046
固定負債		
長期借入金	938,000	893,750
退職給付に係る負債	328,931	338,878
資産除去債務	35,680	35,797
その他	77,897	76,495
固定負債合計	1,380,509	1,344,921
負債合計	4,962,408	4,866,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	4,295,556	4,551,467
自己株式	△149,135	△149,795
株主資本合計	5,729,272	5,984,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,217	36,821
為替換算調整勘定	5,038	3,246
その他の包括利益累計額合計	25,256	40,068
純資産合計	5,754,529	6,024,592
負債純資産合計	10,716,938	10,891,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,705,235	3,675,937
売上原価	2,278,022	3,003,743
売上総利益	427,212	672,193
販売費及び一般管理費	242,576	240,862
営業利益	184,636	431,330
営業外収益		
受取配当金	1,654	2,201
受取保険金	275	1,584
助成金収入	60	1,860
その他	995	1,531
営業外収益合計	2,984	7,176
営業外費用		
支払利息	5,242	5,112
為替差損	25,434	1,591
その他	4,903	3,817
営業外費用合計	35,580	10,520
経常利益	152,041	427,986
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29,100
特別利益合計	—	29,100
特別損失		
固定資産除却損	89	5
特別損失合計	89	5
税金等調整前四半期純利益	151,951	457,081
法人税、住民税及び事業税	48,908	123,107
法人税等調整額	△2,345	17,007
法人税等合計	46,562	140,114
四半期純利益	105,389	316,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,389	316,966

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	105,389	316,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,136	16,604
為替換算調整勘定	△3,612	△1,792
その他の包括利益合計	△8,748	14,811
四半期包括利益	96,640	331,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,640	331,778

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,346,838	1,352,695	2,699,534	5,701	2,705,235	—	2,705,235
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	99	10,920	11,020	—	11,020	△11,020	—
計	1,346,938	1,363,616	2,710,555	5,701	2,716,256	△11,020	2,705,235
セグメント利益 又は損失(△)	△24,881	201,727	176,846	5,292	182,139	2,497	184,636

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額2,497千円はセグメント間取引の消去2,497千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,910,233	1,759,999	3,670,233	5,703	3,675,937	—	3,675,937
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	16,057	16,057	—	16,057	△16,057	—
計	1,910,233	1,776,056	3,686,290	5,703	3,691,994	△16,057	3,675,937
セグメント利益	130,857	290,459	421,316	5,594	426,911	4,419	431,330

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額4,419千円はセグメント間取引の消去4,419千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。